

令和2年7月豪雨による被害発生・拡大防止について

豪雨による被害に遭われた皆さまにおかれましては、心からお見舞い申し上げます。引続き梅雨前線が本州付近に停滞し、西日本から東日本まで大気の状態が非常に不安定となるとみられることから、被害発生・拡大防止に関する情報をお伝えするとともに、7月9日(木)福岡県の三池港の様子を撮影した画像も併せてご報告します。

1. 来週にかけての梅雨前線の動きについて

梅雨前線は来週にかけて引き続き本州付近にある見込みで、東北から九州にかけて断続的に雨が降り、特に7/13(月)・7/14(火)は西日本や東日本の広範囲で大雨となる予報となっています。また、本日7/10(金)夜から明日7/11(土)にかけて、強い雨雲が九州に接近するため、九州北部や東海地方を中心に少しの雨でも土砂災害などの危険度が高まっております。

現在も強い雨が継続していることから、常に最新情報をご確認頂いて警戒頂くとともに、事前に十分な対策を講じることをお勧めします。



国際航業社 防災情報提供サービスサイトより

7/10(金)18時時点の降雨量予想

2. 三池港の様子(7月9日(木)時点)

令和2年7月豪雨により、福岡県大牟田市の三池港のコンテナヤードで冠水が発生しました。日本海事検定協会にて実際に現地入りし撮影した写真とともに速報にてお伝えいたします。

- ・写真のとおり既に水は引いていますが、コンテナについた水痕から、冠水高さは約20cmと推測されます。
- ・排水能力を超過する降水の為に排水側溝より冠水したと思われ、約100本の実入りコンテナに浸水が懸念されています。
- ・なお、三池CYは釜山航路のみですが、釜山⇄中国・東南アジアの中継もあることが予想されます。



コンテナヤード遠景



冠水したと思われるコンテナ

3. 貨物保険の事故が発生している場合

ご契約頂いております貨物に損害が発生している場合には速やかにご契約の代理店または弊社までご連絡ください。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリンピックスのバックナンバーはこちら

